

## 令和2年度 3年生進路学習会 校長あいさつ

みなさんこんにちは。飯沼中学校校長の田村です。7月に行われました1学期末の保護者会にご参加できなかった保護者の方もいらっしゃるかもしれませんので、改めて自己紹介させていただきます。私は4月に本校に着任いたしました田村嘉則と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、秋も深まり、年度の後半戦に入ったところですね。今年は、新型コロナウイルスの関係で、3月から5月まで休校、6月からようやく学校が始まったわけですが、体育祭は中止、合唱祭は中止、修学旅行、スキー教室と生徒が楽しみにし、大きく成長する学校行事がことごとく中止となりました。毎日の授業におきましても、マスクをして、アルコール消毒をし、授業の内容も限定されたものとなっています。給食も黙って前を向いて食べているんですよ。そういう状況を考えると、生徒達がよくストレスで押しつぶされることなく、明るく、元気に、毎日の授業をはじめとする学校生活を送っているなど、本当に頭の下がる思いをしています。生徒達がよくがんばっているのと共に、ご家庭におかれましても、愛情深くお子さまと接してくださっているからこその姿だと感謝しているところでございます。

一方、時間は無常に過ぎてゆきます。卒業までのカウントダウンは始まっています。10月もあっという間に終わってしまいます。3年生の生徒諸君もあと5ヶ月で卒業です。5ヶ月後には義務教育を終えます。これまで、小学校、中学校と、どんなに勉強ができなくても、何回遅刻をしようとも、何度叱られようと、決して見捨てられることのなかった立場から、一転して「自己責任」という名のもとに、ある意味自由な面も広がるが、その分、責任が自分にのしかかってくることになるのです。出席日数が基準以下であったり、一教科でも成績が基準以下であったりすれば、高校は進級させてもらえません。警察のお世話になるような行動をすれば退学となってしまいます。今一度、生徒諸君には、自分は何をしに高校へ行くのか、ということを自分に問うてほしい。君たちの年齢で既に働いている人間は、世界にはたくさんいる。進学することを許される環境にあることに感謝するべきである。受験勉強の苦しさなど、日々家族のために働いてくれている保護者の苦勞に比べたら、そして生徒諸君が数年先に社会に出た後に味わう辛さに比べたら、まさにぬるま湯の中でわがままな自己主張をしているに過ぎない事に早く気づきなさい。スポーツの試合、文化部のコンクール同様、受験の結果も情け容赦のないものです。しかし、スポーツの試合や文化部のコンクール同様、負けても、すなわち受験に不合格となったとしても、そんなことで、人生は決して決まらないということも忘れないでください。人生は挫折の連続であり、思い通りにならない事ばかりです。しかし、私がこれまでに何度か言ってきたように、置かれた環境で体勢を立て直し、気持ち新たに、柳の木の枝のように、しなやかにそし

て強く生きていくことができれば、幸せな人生となるのです。3年生の生徒諸君、これからの5ヶ月間、仲間と共に、励まし合いながら、愚痴を言わず、結果を恐れず、冷静に判断をすることが大切です。

保護者の皆様には、大人として、人生の先輩として、大きく構え、子供のがんばりや成長を信じて、見守っていただければと思います。このあと、具体的な話がたくさんありますが、分からないことは、遠慮なく質問して、すっきりしてお帰りください。どうぞよろしく願いいたします。

令和2年10月29日 春日部市立飯沼中学校長